

答弁指定事項進捗状況調書

平成28年6月	議員名	辻浦 義浩		
	担当部	総務部	担当課	総務課
質問年月日	平成28年6月21日			
質問事項	伊達市防犯灯について			
<p>【質問要旨】</p> <p>市長は、市民の皆様と十分な議論を重ねて、市民サービスのあり方について踏み込んでいかなければならないと申しております。この防犯灯の問題についてもやはり住民、自治会等と議論を重ねていって、いい方向に持っていかなければいけないと思うが、市長のお考えを伺いたい。</p>				
<p>【答弁要旨】 【答弁者：市長】</p> <p>税を負担する人の数が減るといふ大きな課題の中で、今までの従来どおりのサービスを維持することは困難になってまいりますから、そういった議論をできればこの3年である程度はしていきたいなとこう考えているところでございます。</p>				
【対応・進捗状況】	対応済（平成 年 月 日）	<input checked="" type="checkbox"/> 対応中	<input type="checkbox"/> 検討中	<input type="checkbox"/> 実施不可
<p>■令和元年10月1日現在</p> <p>自治会の防犯灯については、平成30年度から一斉LED化事業に着手しており、本年度中にすべての防犯灯がLED化される見込みであります。</p>				

答弁指定事項進捗状況調書

平成28年6月	議員名	辻浦 義浩		
	担当部	建設部	担当課	建設課
質問年月日	平成28年6月21日			
質問事項	平成28年度 重点要望事項「二級河川 気門別川」改修事業について			
<p>【質問要旨】 河川改修を早期にやっていただかないと、いつ何が起こるのかわからないと思う。やはり、いち早く事業の再開と完成を強く求めたいと思うが、市長のお考えを伺う。</p>				
<p>【答弁要旨】 【答弁者：市長】 1軒の方が賛成してくれないがゆえに工法を変えるとかいろんな検討をされていますけれども、やっぱり基本はそういうことではなくて、きちっと従来説明したとおり、やっていただかなければいけないと思う。引き続き北海道に対しまして強力に要請をしていきたいと考えている。</p>				
【対応・進捗状況】	対応済（平成 年 月 日）	対応中	検討中	実施不可
<p>■令和元年9月30日現在</p> <p>北海道が行っている二級河川気門別川改修事業については、事業再開に向け、「河川整備計画」の策定を進めており、専門家や地域関係者等を含めた「河川整備計画流域懇談会」が平成30年3月から本年5月まで3回にわたり開催されました。</p> <p>今後、本懇談会の意見を踏まえ、「河川整備計画」が策定される予定となっております。</p> <p>市街地の浸水被害防止のため必要な事業であることから、北海道へ早期整備に向け強く要望して参ります。</p>				

答弁指定事項進捗状況調書

平成28年6月	議員名	小久保 重孝		
	担当部	教育部	担当課	指導室
質問年月日	平成28年6月22日			
質問事項	小中学校の特別支援教育体制について			
<p>【質問要旨】</p> <p>支援員、介護員と教職員とがもう少しコミュニケーションをとることについて、教育委員会のほうからもう少しそういう話をしていくことはできないか。</p>				
<p>【答弁要旨】 【答弁者：教育部長】</p> <p>コーディネーターという教職員と支援員、介護員との会話は結構スムーズにしていると聞いている。逆に、市のほうの担当者と支援員、介護員との接点が年に1回ぐらいしかないため、7月に支援員、介護員の声を聞く機会があるので、ぜひとも自分も参加して今後どうしていったらいいか、考えていきたい。</p>				
【対応・進捗状況】	対応済 (平成29年8月29日)	対応中	検討中	実施不可
<p>■平成29年9月11日現在</p> <p>支援員連絡会議と介護員連絡会議を毎年3回開催し、悩んでいることや困っていることなどについて、市コーディネーターである伊達高等養護学校の教諭から、対処の方法等の話や演習をして頂くこととしました。</p> <p>また、教育委員会もこの連絡会議に参加し、学校での状況を聞くこととしております。</p>				

答弁指定事項進捗状況調書

平成28年6月	議員名	小久保 重孝		
	担当部	教育部	担当課	学校教育課
質問年月日	平成28年6月22日			
質問事項	小中学校の特別支援教育体制について			
<p>【質問要旨】</p> <p>臨時職員である支援員、介護員は通年雇用ができないので、終業式や始業式に、あなたは結構ですと校長先生から言われるようなケースもあると聞いていて、出ている人と出していない人がいるが、この取り扱いはどうなっているのか。</p>				
<p>【答弁要旨】 【答弁者：教育部長】</p> <p>支援員、介護員全員一律同じ日に採用しており、雇用の仕方に問題があったのではと思う。今後は各学校の実情に合わせた採用形態をしていきたいと考えている。</p>				
【対応・進捗状況】	対応済 (平成28年11月7日)	対応中	検討中	実施不可
<p>■平成28年11月7日現在</p> <p>支援員及び介護員の任用につきましては、臨時職員の任用方法（運用）の見直しが行われたことから、各学校の実情に合わせた臨時職員の任用が可能となるため、その取扱いに基づき対応して参ります。</p>				

答弁指定事項進捗状況調書

平成28年6月	議員名	小久保 重孝			
	担当部	総務部	担当課	職員法制課	
質問年月日	平成28年6月22日				
質問事項	小中学校の特別支援教育体制について				
<p>【質問要旨】</p> <p>臨時職員については、今の通年雇用ができない部分が業務に支障をきたしているのではないかと。採用日の調整で済めばよいが、他の自治体では今のような1カ月あけるようなケースではない運用もしていると聞いている。また、もう少し要件を変えていたり、任期つき職員の採用も一つではないかと思うがどうか。</p>					
<p>【答弁要旨】 【答弁者：総務部長】</p> <p>昨今臨時職員の応募も大分減っており、雇用も厳しい状態になってきている。今、全道の自治体の雇用の状況などを調査しているので、それをみて見直しをしようかというふうに考えているところなので、その辺はちょっとお時間を頂戴したい。</p>					
【対応・進捗状況】	対応済	(平成28年11月7日)	対応中	検討中	実施不可
<p>■平成28年11月7日現在</p> <p>臨時職員の任用は、地方公務員法第22条の規定により通算12月を超える任用ができないことから、現状の本市の運用では最大で2月の待機期間を設けておりますが、全道各市における運用状況の調査結果を踏まえ、以下のとおり運用方法を見直し、平成29年1月1日から運用を開始することといたしました。</p> <p><見直し内容></p> <p>(1) 職種に関わらず、勤務時間が週20時間以上の任用条件で任用される臨時職員については、原則、次の任用までの待機期間を「5日間」とする。</p> <p>(2) 任用期間満了後、翌月から再度任用することが明らかである場合は、社会保険及び雇用保険の資格は喪失しない（継続する。）。</p>					

答弁指定事項進捗状況調書

平成28年6月	議員名	小久保 重孝		
	担当部	教育部	担当課	生涯学習課
質問年月日	平成28年6月22日			
質問事項	ハーフマラソン大会について			
<p>【質問要旨】</p> <p>30回大会は今の実行委員会で進めて頂くとしても、その次に向けて仕掛けが必要ではないかと思っているが、どう進めていくのか。</p>				
<p>【答弁要旨】 【答弁者：教育部長】</p> <p>今のボランティアで関わっている職員以外も、どういう形でサポートさせていくかわからないが、入っていきまして、現在の運営の方法等を少し勉強したいなというふうに考えている。</p>				
【対応・進捗状況】	対応済 (平成30年10月1日)	対応中	検討中	実施不可
<p>■平成30年10月1日現在</p> <p>平成29年度の第30回大会は、実行委員会に生涯学習課の職員を加え、大会当日の運営にも生涯学習課の職員を10名参加させました。</p> <p>第31回大会は、教育長が実行委員長となり、市教育委員会が実行委員会事務局の中核を担う形で開催いたしました。</p> <p>第32回大会以降も市教育委員会が中心となり、実行委員会形式で開催していくこととしております。</p>				